



2021年10月28日

各位

会社名 富士古河E&C株式会社
代表者名 代表取締役社長 日下 高
(コード:1775 東証第二部)
問合せ先 取締役経営企画本部長 小田 茂夫
(TEL. 044-548-4500)

2022年3月期第2四半期の個別業績予想と実績値との差異に関するお知らせ

2021年4月26日に公表しました2022年3月期第2四半期累計期間の個別業績予想と実績値に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 2022年3月期 第2四半期累計期間 個別業績予想と実績値との差異 (2021年4月1日~2021年9月30日)

(1) 業績予想と実績値との差異

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想 (A) (2021年4月26日)	百万円 30,000	百万円 1,400	百万円 1,550	百万円 1,100	円 銭 122.31
実績値 (B)	30,952	1,654	1,960	1,440	160.22
増減額 (B - A)	952	254	410	340	—
増減率 (%)	3.2	18.2	26.5	31.0	—
(ご参考)前期第2四半期実績 (2021年3月期第2四半期)	27,554	1,522	1,723	1,241	138.00

2. 差異の理由

当第2四半期の個別業績につきましては、売上高はほぼ予想通りに推移しました。利益面では、原価低減及び販売管理費の削減などにより、営業利益、経常利益並びに親会社株主に帰属する四半期純利益はそれぞれ前回発表値を上回る結果となりました。

なお、通期業績予想につきましては、従前の予想数値を据え置いておりますが、業績予想の修正が必要となった場合は、速やかに公表させていただきます。

以上